

## 赤道ギニアにおけるマールブルグ病の終息

- 6月8日、WHO は、赤道ギニアで発生していたマールブルグ病の終息を発表しました。
- マールブルグ病は、エボラ出血熱と同様に致死率が高い極めて危険な感染症で、主として感染者の体液等(血液、分泌物、吐物・排泄物)に触れることにより感染します。引き続き、自然環境にあるウイルスに感染しないために、野生動物(含・死骸、排泄物)に触らない、不用意に洞窟・採掘坑に立ち入らない、また、野生動物の肉(bush meat やジビエと称されるもの等)を食さないなど、感染予防を心がけてください。

### 1 マールブルグ病の終息

- (1)6月8日、WHO は、赤道ギニアで発生していたマールブルグ病の終息を宣言しました。2月13日に宣言された今回の流行では、検査による陽性者が17名で、うち12名が死亡しました。また、疑い例の23名全員が死亡しています。
- (2)今回の終息は、最後の感染者の回復後42日間が経過したため発表されたものです。

### ○6月8日付WHOアフリカ支部による発表(英文)

<https://www.afro.who.int/countries/equatorial-guinea/news/marburg-virus-disease-outbreak-equatorial-guinea-ends>

### 2 マールブルグ病について

マールブルグ病は、エボラ出血熱と同様に最も危険な感染症である一類感染症に指定されています。コウモリやラットなどの媒介動物の関与が指摘されてはいますが、自然界からヒトへの感染経路は依然不明です。感染源になるのは、患者の血液、体液、排泄物、唾液などで、これらとの直接接触及び医療機関や家族内での濃厚接触が感染経路となっており、空気感染はありません。現在、特異的な治療法はなく、対症療法となります。潜伏期間は3日から10日で、突発的に発症し、発熱、悪寒、頭痛、筋肉痛に続き発疹がみられます。その後、症状は悪化し、黄疸、全身衰弱、精神錯乱、出血、多臓器不全をきたし、死に至る場合があります。

致死率が高い感染症であるため予防が重要です。自然環境にあるウイルスに感染しないために、野生動物(含・死骸、排泄物)に触れない、不用意に洞窟・採掘坑に立ち入らないなど注意するとともに、アルコール消毒や石けんなどを使用した十分な手洗いを行うように心掛けてください。

また、マールブルグ病に感染しないよう、感染者が発生している地域には近付かないようにし、感染者又は感染の疑いがある人との接触は避け、野生動物の肉(bush meat やジビエと称されるもの等)を食さないなど、感染予防を心掛けてください。

(参考)

### ○厚生労働省検疫所

<https://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name49.html>

○国立感染症研究所:「マールブルグ病とは」

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/343-marburg.html>

### 3 在留届及び「たびレジ」への登録のお願い

海外渡航前には、万が一に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。3か月以上滞在する方は、緊急事態に備え、必ず在留届を提出してください。

(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html> )

また、3か月未満の出張などの渡航の際には、海外滞在中も安全に関する情報を随時受けとれるよう、外務省海外旅行登録「たびレジ」に登録してください。(詳細は<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html> 参照)

(問い合わせ窓口)

○外務省領事サービスセンター

住所:東京都千代田区霞が関 2-2-1

電話:(代表)03-3580-3311(内線)2902、2903

(外務省関連課室連絡先)

○外務省領事局政策課(海外医療情報)

電話:(代表)03-3580-3311(内線)4919

○外務省 海外安全ホームページ: <http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(携帯版) <http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>

(現地在外公館連絡先)

○在ガボン日本国大使館(赤道ギニアを管轄)

住所:Boulevard du Bord de Mer, B.P.2259, Libreville, Gabon

電話:(+241)011-73-22-97 / 011-73-02-35

閉館時の緊急連絡先:(+241)077-38-73-38

FAX:(+241)011-73-60-60

ホームページ:[https://www.ga.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.ga.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)